

家読100選

山梨県教育委員会 しなやかな心の育成プロジェクト

小学校3・4年生向け

昨年度うちどくポップ展
入賞作品

1. 家族で話し合っ「うちどくの日」を決めよう。
2. 我が家の家読スタイルを話し合っ決めよう。
3. 家族で話し合っ読む本を決めよう。
4. ノーテレビ・ノーゲームで家読をしよう。
5. 年齢に合ったスキンシップをとりながら家読をしよう。
6. 我が家の家読の記録を残そう。
7. 家族の読書体験を語ろう。
8. 家庭文庫を作ろう。
9. 図書館に行こうデーをつくろう。
10. 家読の輪を広げよう。

「うちどく」のやり方に特に決まりはありません。基本は、「読んだ本について家族で話す」ということだけです。それぞれの家庭の事情に合わせて、習慣的に本をめぐる会話を楽しむ。同じ本を読めば会話がいつそう盛り上がります。決まりはありませんが、「うちどく」のすすめ方として参考にしてください。

うちどく.comより

～ポップを書いてみよう～

ポップとは？

本の近くにそえられている広告のことです。本の内容のしょうかいや、おすすめの言葉が書かれたカードで、読んだことのない人に、その本のみりよく伝えるものです。



①どんなことを伝えたいのかを考えよう。

- ・こんなときに読んでほしい。
- ・登場人物のことを伝えたい。
- ・心に残った場面を伝えたい。
- ・心に残った言葉や文を知らせたい。
- ・どんな作者、筆者が書いた本かしょうかしたい。



③書いてみよう。

いちばん伝えたい言葉は、大きめに書こう。本のイメージや自分の伝えたい気持ちに合う色やデザインを考えよう。アイキャッチャー（イラスト、写真）などをそえて、はなやかにかざろう。

②相手に「読んでみたい！」と思ってもらえるように工夫しよう。

～引用してみよう～
心に残った場面や心に残った言葉を、本の中から見つけて使ってみよう。
～キャッチコピーをつけよう～
伝えたいことに合わせて、見る人に関心をもってもらえるよう短い文を考えよう。



上手・下手ではなく、ていねいに、心をこめて書くことが大切です！

参考：「国語 五 銀河 光村図書」



◆平成30年10月
◆発行 山梨県教育委員会 社会教育課
〒400-8504 甲府市丸の内1丁目6番1号
TEL 055-223-1773 FAX 055-223-1775
<http://www.pref.yamanashi.jp/shakaikyo/index.html>



【一緒に読みませんか部門】
優秀賞
「しっばいにかんぱい！」
(宮川ひろ/作 小泉るみ子/絵 童心社)
下吉田第一小学校 渡邊 陽人さん



【一緒に読みませんか部門】
優秀賞
「もりのホテル」
(ふくざわゆみこ 絵/作 学研教育出版)
山城小学校 奥村 菜海さん



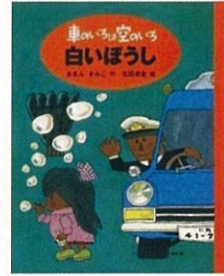
【家族で読んだよ部門】
優秀賞
「走れメロス/くもの糸 くじけず、めげず、友のために走る！」
(太宰治・芥川龍之介/原作 楠草子/文 脚次郎/絵 学研プラス)
神金小学校 廣川 清乃さん



【家族で読んだよ部門】
優秀賞
「タンポポ あの日をわすれないで」
(光丘真理/文 山本省三/絵 文研出版)
谷村第二小学校 志村 優衣さん



←読んだら、好きな色でぬってね!



①車のいろは空のいろ 白いぼうし
 ②あまんきみこ/作 北田卓史/絵
 ③ポプラ社 2000年
 ④子どものときに読んだことのあるお家の方も多いいのでは。今度はお子さまと一緒に楽しみませんか。

リストの 見方です

←①作品名です。
 ←②作者名です。
 ←③出版社名、発行年です。
 ←④家読をするときのヒントです。ご家族で、本を読むときの参考にしてください!



ちょっとだけ弟だった 幸太の物語

東多江子/作 宮尾和孝/絵
 そうえん社 2010年
 捨て犬の預かりボランティアを始めた家族の物語。生き物を飼う責任について考えるきっかけになるかも。



ねこさんかぞくの みどりのカーテン

津田直美/作・絵
 ブロンズ新社 2009年
 作者一家が実際に育てた緑のカーテン。その様子を描いた絵本なので、我が家も挑戦!という家庭にぴったり。

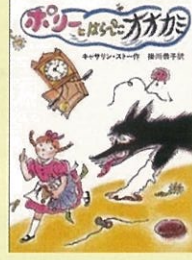
おいちゃんが おおきになつたわけ

キム・フリップス・オカソン/文
 ゴア・ワカノ/絵 菱木晃子/訳
 あすなろ書房 2005年
 大好きな人との悲しい別れ…。でも、あなたはこんなに愛されていたんだよと、伝えてあげたいときに。



ポリート はらぺこオオカミ

キャサリン・ストー/作
 掛川恭子/訳
 岩波書店 1979年
 昔話をもとにした楽しいお話集。お子さまの知らない昔話があったら、そのお話も教えてあげてくださいね。



「和」の行事えほん (全2巻)

高野紀子/作
 あすなろ書房 2006~2007年
 四季折々にお子さまと一緒にながめ、楽しみながら日本の行事を伝えていきたいですね。



おひさまいろのきもの

広野多珂子/作・絵
 福音館書店 2007年
 お母さんの立場で読んで、子どもの立場で読んで、きっと心が温かくなっていくと思います。

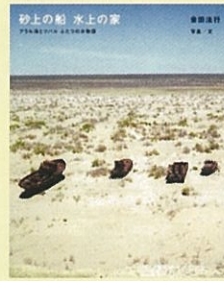
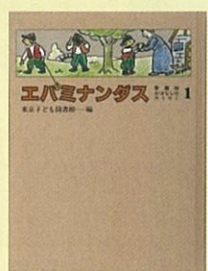
ウェン王子とトラ

チェン・ジャンホン/作・絵
 平岡敦/訳
 徳間書店 2007年
 二人の母(お后とトラ)と王子の絆から、「愛」は憎しみや暴力に勝ることに気付いてくれたら…。



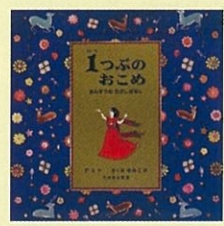
エパミナンダス

東京子ども図書館/編
 東京子ども図書館 1997年
 '耳で聞く' 楽しさが味わえるお話を集めた本です。ぜひ、読み聞かせをしてあげてほしいと思います。



砂上の船 水上の家

会田法行/写真・文
 ポプラ社 2010年
 時には環境問題についてお子さまと話をしてみませんか。写真が静かに、でも、力強く語りかけてきます。



1つぶのおこめ

デミ/作
 さくまゆみこ/訳
 光村教育図書 2009年
 毎日、倍々に増えていくお米の数。だんだん大きくなっていく数字と一緒に数えながら読んであげてください。

帆かけ舟、空を行く

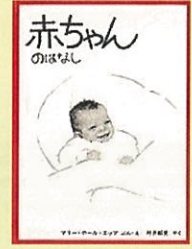


ケンティン・ブレイク/作
 柳瀬尚紀/訳
 評論社 2007年
 最後に、帆かけ舟はどこに向かったのでしょうか…。それぞれが自分の思いを話し合ってみませんか。



赤ちゃんのはなし

マリー・ホール・エッツ/文・絵
 坪井郁美/訳
 福音館書店 1982年
 きょうだいが生まれてくるときなどに、ぜひ。家族と一緒に、命の不思議と大切さを感じてくださいね。



桜守のはなし

佐野藤右衛門/作
 講談社 2012年
 春はもちろんですが、きっとこれからは夏や秋のお散歩のときも、桜が目がいくようになるのでは。



旅の絵本 (1~8)



安野光雅/著
 福音館書店 1977~2013年
 風景の中に散りばめられた史跡やお話の数々。おとなが案内してあげると、きっと旅が一段と楽しくなります。

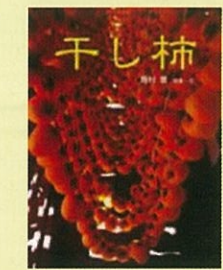
富士山大ぼくはつ

かこさとし/作
 小峰書店 1999年
 せっかく山梨に住んでいるのですもの。世界文化遺産の富士山のこと、もっとみんなで調べてみませんか。



干し柿

西村豊/写真・文
 あかね書房 2006年
 山梨の特産品の干し柿。秋には家族みんなで干し柿づくりを楽しんでみてはいかがでしょう。



作 品

作/絵/訳

発行年

出版社

作 品	作/絵/訳	発行年	出版社
セミの一生	橋本治二/文 佐藤有恒/写真	2005	あかね書房
やかまし村の子どもたち	アリッド・リッド・グレン/作 大塚勇三/訳	1965	岩波書店
オオカミの森 旭山動物園物語	小菅正夫/文 あべ弘士/絵	2009	角川書店
博物館の一日	いわた慎二郎/作・絵	2012	講談社
子どもに語るアラビアンナイト	西尾哲夫/訳・再話 茨木啓子/再話	2011	こぐま社
みんなあかちゃんだった	鈴木まもる/作	2000	小峰書店
吉四六さん	小澤昔ばなし大学再話研究会/再話 小澤俊夫/監修 二俣英五郎/絵	2011	小峰書店
プレゼント	おとだけひろただ/ぶん さわたしき/え	2000	中央法規出版
3びきのかわいいオオカミ	ユージ・ツトビダス/文 ルソウ・カセバリー/絵 こだまともこ/訳	1994	富山房
わすれられないおくりもの	スザン・バーレイ/さく・え 小川仁央/やく	1986	評論社
ドングリ山のやまんばあさん	富安陽子/作 大島妙子/絵	2002	理論社

このリストには、「子どもと一緒に読みたい本、友だちや家族に読んでほしい本」について、山梨県内の方々からご応募いただいた作品もごせています。